

大都市データ

川崎市を含む20の政令指定都市と東京都区部を合わせた21大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表(令和元年版)」などを基に、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



1

人口・世帯数及び面積

●人口密度は大都市で3位

(令和2年10月1日)

都 市 名	政令指定都市への移行年月日	区数	世帯数(世帯)	人 口 (人)			面 積 (km ²)	人口密度(人/km ²)	性 比
				平成27年国勢調査	令和2年国勢調査	5年間の人口増減数			
1 東京都 都 区	-	23	5,209,997	9,272,740	9,744,534	471,794	627.53	15,528	96.1
2 大阪府 市	昭和三十九.1	24	2,465,136	2,691,185	2,754,742	63,557	225.32	12,226	92.9
3 川崎 市	昭和三十九.1	7	746,866	1,475,213	1,539,081	63,868	144.35	10,662	101.7
4 横浜市 市	昭和三十九.1	18	1,753,389	3,724,844	3,778,318	53,474	437.71	8,632	97.6
5 名古屋 市	昭和三十九.1	16	1,117,930	2,295,638	2,333,406	37,768	326.50	7,147	96.6
6 さいたま 市	平成十五.四.一	10	580,658	1,263,979	1,324,591	60,612	217.43	6,092	97.2
7 堺 市	平成十八.四.一	7	366,110	839,310	826,447	▲12,863	149.83	5,516	91.1
8 福岡 市	昭和三十九.一	7	827,083	1,538,681	1,613,361	74,680	343.46	4,697	89.3
9 千葉 市	平成四.四.一	6	446,695	971,882	975,210	3,328	271.78	3,588	97.4
10 神戸 市	昭和三十九.一	9	734,314	1,537,272	1,527,022	▲10,250	557.02	2,741	88.5
11 相模原 市	平成二二.四.一	3	332,069	720,779	725,302	4,523	328.91	2,205	99.5
12 北九 州	昭和三十八.四.一	7	435,350	961,286	939,622	▲21,664	491.69	1,911	89.3
13 熊本 市	平成二四.四.一	5	326,737	740,822	738,744	▲2,078	390.32	1,893	89.6
14 京 都 市	昭和三十九.一	11	727,566	1,475,183	1,464,890	▲10,293	827.83	1,770	89.6
15 札幌 市	昭和三十九.一	10	966,009	1,952,356	1,975,065	22,709	1,121.26	1,762	87.0
16 仙台 市	平成元.四.一	5	523,620	1,082,159	1,097,196	15,037	786.35	1,395	94.0
17 広島 市	昭和三十九.一	8	553,993	1,194,034	1,201,281	7,247	906.69	1,325	93.2
18 新潟 市	平成一九.四.一	8	331,076	810,157	789,715	▲20,442	726.27	1,087	92.6
19 岡 山 市	平成二一.四.一	4	325,945	719,474	725,108	5,634	789.95	918	92.6
20 浜 松 市	平成一九.四.一	7	319,900	797,980	791,155	▲6,825	1,558.06	508	98.7
21 静 岡 市	平成一七.四.一	3	296,778	704,989	693,759	▲11,230	1,411.83	491	94.9

*順位は人口密度による。

*人口・世帯数は令和2年国勢調査速報値。

*人口(平成27年国勢調査)は、令和2年10月1日現在の市区町村の境域に基づいて組み替えた平成27年の人口を示す。

*川崎市の面積は本市公表値による。

データチェック

令和2年の国勢調査時の人口密度は第3位となっており、性比(女性100人に対する男性の数)については最も高くなっています。また、国勢調査が行われた令和2年と平成27年の間の5年間の人口増減数をみると、第3位となっています。

2

人口動態

●自然増加数は大都市で最も多い

(単位:人)(平成31・令和元年)

都 市 名	人口増加(自然増加+社会増加)	自然動態			社会動態				人口増加率(%)(人口増加数/10月1日現在の人口)
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動	その他の増減	
1 川崎 市	13,890	1,744	13,421	11,677	12,146	13,618	-	▲1,472	0.91
2 福岡 市	13,306	844	13,616	12,772	12,462	14,397	35	▲1,970	0.84
3 さいたま 市	11,890	▲876	10,317	11,193	12,766	13,427	-	▲661	0.91
4 熊本 市	▲405	▲941	6,343	7,284	536	536	▲0.05
5 岡 山 市	▲268	▲1,267	5,663	6,930	999	1,736	-	▲737	▲0.04
6 仙台 市	1,475	▲1,270	7,861	9,131	2,745	2,939	11	▲205	0.14
7 広島 市	▲363	▲1,332	9,411	10,743	969	1,231	-	▲262	▲0.03
8 相模原 市	▲67	▲1,818	4,715	6,533	1,751	2,068	-	▲317	▲0.01
9 浜 松 市	▲2,253	▲2,656	5,791	8,447	406	504	-	▲98	▲0.28
10 堺 市	▲2,986	▲2,778	6,038	8,816	▲208	158	-	▲366	▲0.36
11 千葉 市	2,467	▲2,932	6,419	9,351	5,399	6,123	-	▲724	0.25
12 静 岡 市	▲4,120	▲3,816	4,435	8,251	▲304	▲99	-	▲205	▲0.60
13 新潟 市	▲4,403	▲3,911	5,335	9,246	▲492	▲417	-	▲75	▲0.55
14 北九 州	▲5,322	▲4,622	6,687	11,309	▲700	▲1,605	1,240	▲335	▲0.57
15 名古屋 市	6,926	▲4,723	18,371	23,094	11,649	14,522	119	▲2,992	0.30
16 東京都 都 区	83,991	▲5,194	76,725	81,919	89,185	63,732	▲2,863	28,316	0.87
17 京 都 市	▲2,824	▲5,356	9,700	15,056	2,532	3,657	24	▲1,149	▲0.19
18 神戸 市	▲4,366	▲5,645	10,468	16,113	1,279	2,906	-	▲1,627	▲0.29
19 札幌 市	3,856	▲6,901	12,810	19,711	10,757	11,116	-	▲359	0.20
20 横 浜 市	8,985	▲7,200	26,394	33,594	16,185	16,277	47	▲139	0.24
21 大 阪 市	16,480	▲9,166	21,124	30,290	25,646	28,475	...	▲2,829	0.60

*順位は自然増加数による。

*大阪市と熊本市は「市外との移動」に「市内移動」を含む。

データチェック

平成31・令和元年1年間の川崎市の自然増加数は1,744人で、大都市で最も多くなっています。自然増加となっているのは川崎市と福岡市のみです。

3

年齢別人口

●平均年齢は大都市で最も低い

(単位：人、%) (平成27年10月1日)

都 市 名	総数	年齢(3区分)別						平均年齢 (歳)
		15歳未満	構成比	15~64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川 崎 市	1,475,213	184,135	12.8	972,976	67.7	279,482	19.5	42.8
2 福 岡 市	1,538,681	199,923	13.3	996,401	66.0	312,331	20.7	43.1
3 仙 台 市	1,082,159	129,309	12.5	674,873	65.0	234,360	22.6	44.3
3 さ い た ま 市	1,263,979	164,722	13.2	799,279	64.0	284,138	22.8	44.3
5 広 島 市	1,194,034	166,427	14.2	730,388	62.1	279,311	23.7	44.4
6 東 京 都 区 部	9,272,740	1,002,130	11.0	6,088,409	67.0	1,997,870	22.0	44.5
7 岡 山 市	719,474	97,043	13.7	435,475	61.5	175,013	24.7	44.7
8 相 模 原 市	720,780	88,850	12.4	454,821	63.6	171,040	23.9	44.8
8 熊 本 市	740,822	103,433	14.1	452,822	61.7	177,325	24.2	44.8
10 名 古 屋 市	3,724,844	468,535	12.7	2,368,291	64.0	865,490	23.4	44.9
11 横 濱 市	2,295,638	282,497	12.5	1,429,795	63.3	545,210	24.2	45.0
12 千 葉 市	971,882	122,062	12.7	597,580	62.4	238,213	24.9	45.4
13 大 阪 市	2,691,185	295,298	11.2	1,682,798	63.6	668,698	25.3	45.8
13 堺 市	839,310	112,964	13.6	495,966	59.5	224,064	26.9	45.8
15 京 都 市	1,475,183	162,141	11.3	886,422	62.0	381,132	26.7	45.9
16 札 幌 市	1,952,356	221,013	11.4	1,235,516	63.7	483,534	24.9	46.2
16 浜 松 市	797,980	107,411	13.6	473,435	60.0	208,355	26.4	46.2
18 神 戸 市	1,537,272	185,084	12.2	921,967	60.7	411,427	27.1	46.6
19 新 潟 市	810,157	98,367	12.2	488,815	60.8	217,107	27.0	46.8
20 静 岡 市	704,989	85,299	12.2	415,466	59.3	200,229	28.6	47.5
20 北 九 州 市	961,286	119,448	12.6	549,397	58.1	277,120	29.3	47.5

*順位は平均年齢の低い順である。

(国勢調査)

*総数には年齢不詳を含む。

データチェック

川崎市の15~64歳の生産年齢人口の構成比は大都市で最も高く、65歳以上の老年人口の構成比は最も低くなっています。また、川崎市は大都市の中で平均年齢が最も低くなっています。

4

有業者

●有業率は大都市で第2位

(単位：人、%) (平成29年10月1日)

都 市 名	15歳以上人口			有業率		
	総 数	有業者	無業者	総 数	男	女
1 東 京 都 区 部	8,422,200	5,619,400	2,802,800	66.72	76.27	57.56
2 川 崎 市	1,313,000	875,100	438,000	66.65	76.62	56.44
3 相 模 原 市	628,300	392,900	235,400	62.53	71.31	53.70
4 広 島 市	1,027,800	635,400	392,400	61.82	71.23	53.21
5 横 濱 市	3,265,200	2,017,500	1,247,700	61.79	72.17	51.65
6 名 古 屋 市	1,993,400	1,230,800	762,700	61.74	70.78	53.06
7 福 岡 市	1,332,800	821,700	511,100	61.65	71.52	53.10
8 さ い た ま 市	1,117,800	687,600	430,200	61.51	71.46	51.75
9 静 岡 市	611,400	372,900	238,500	60.99	70.13	52.52
10 仙 台 市	923,400	561,700	361,600	60.83	70.57	51.84
11 浜 松 市	680,700	413,200	267,500	60.70	69.41	52.31
12 岡 山 市	613,800	367,800	246,000	59.92	68.67	52.07
13 大 阪 市	2,417,800	1,448,400	969,400	59.91	68.36	52.12
14 京 都 市	1,299,000	775,500	523,500	59.70	69.11	51.42
15 千 葉 市	845,600	497,800	347,800	58.87	68.90	48.99
16 熊 本 市	636,000	369,300	266,600	58.07	66.20	51.03
17 新 潟 市	701,800	404,500	297,300	57.64	66.42	49.66
18 堺 市	723,800	409,100	314,700	56.52	65.87	48.14
19 神 戸 市	1,349,500	760,200	589,400	56.33	66.85	47.04
20 札 幌 市	1,721,600	959,500	762,100	55.73	65.39	47.48
21 北 九 州 市	817,700	449,900	367,900	55.02	66.24	45.32

*順位は有業率(総数)による。

(就業構造基本調査)

データチェック

川崎市の15歳以上人口に占める有業者の割合(有業率)は、大都市で第2位となっています。男女別に大都市での順位をみると、男性は第1位、女性は第2位となっています。

5

事業所(民営)

● 従業者300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

(単位：事業所、%) (平成28年6月1日)

都 市 名	民営事業所総数	従業者規模別				300人以上の 構成比
		1~29人	30~299人	300人以上	出向・派遣従業者のみ	
1 東京都区部	494,337	452,122	36,850	2,715	2,650	0.549
2 川崎市	40,934	37,721	2,829	160	224	0.391
3 大阪市	179,252	165,383	12,179	641	1,049	0.358
4 横浜市	114,930	105,498	8,454	395	583	0.344
5 千葉市	29,326	26,514	2,485	99	228	0.338
6 福岡市	72,284	66,368	5,082	199	635	0.275
7 札幌市	72,451	66,934	4,822	194	501	0.268
8 相模原市	22,480	20,900	1,419	60	101	0.267
9 さいたまし	41,330	37,884	3,062	110	274	0.266
10 名古屋	119,510	110,398	8,066	308	738	0.258
11 熊本市	28,310	26,360	1,732	70	148	0.247
12 京都市	70,637	66,233	3,915	174	315	0.246
13 神戸市	66,882	62,191	4,087	162	442	0.242
14 仙台市	48,419	44,762	3,178	116	363	0.240
15 北九州市	41,772	38,973	2,480	87	232	0.208
16 広島市	53,327	49,624	3,231	108	364	0.203
17 堺市	28,733	26,638	1,908	58	129	0.202
18 浜松市	35,552	33,249	2,054	67	182	0.188
19 新潟市	35,510	32,988	2,204	62	256	0.175
20 岡山市	31,798	29,520	2,024	54	200	0.170
21 静岡市	35,194	33,051	1,894	56	193	0.159

* 順位は従業者数300人以上の事業所の構成比による。

(経済センサス-活動調査)

データチェック

川崎市の事業所数(民営)は大都市で第13位となっています。従業者300人以上の事業所割合は東京都区部に次いで第2位となっています。

6

工業(従業者4人以上の事業所)

● 製造品出荷額等、従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

(単位：事業所、人、百万円) (平成30年6月1日)

都 市 名	事業所数			従業者数	製造品出荷額等	従業者1人当たり 製造品出荷額等
	総数	4~29人	30人以上			
1 川崎市	1,135	920	215	46,734	4,092,916	87.58
2 堺市	1,355	1,061	294	50,347	3,518,667	69.89
3 広島市	1,161	888	273	55,734	3,207,554	57.55
4 仙台市	497	388	109	16,269	922,435	56.70
5 千葉市	392	257	135	21,659	1,222,921	56.46
6 神戸市	1,491	1,126	365	68,952	3,255,637	47.22
7 北九州市	963	681	282	47,384	2,130,873	44.97
8 横浜市	2,331	1,824	507	90,938	3,997,522	43.96
9 静岡市	1,360	1,089	271	47,129	1,979,079	41.99
10 京都市	2,145	1,788	357	63,907	2,613,795	40.90
11 名古屋	3,623	3,092	531	95,601	3,490,381	36.51
12 相模原市	894	685	209	38,422	1,377,340	35.85
13 岡山市	771	551	220	30,643	1,058,009	34.53
14 大阪市	4,862	4,107	755	113,434	3,821,260	33.69
15 さいたまし	907	746	161	27,888	859,353	30.81
16 新潟市	1,008	752	256	37,559	1,145,083	30.49
17 福岡市	706	578	128	19,051	572,001	30.02
18 浜松市	1,918	1,453	465	70,213	1,950,092	27.77
19 熊本市	472	358	114	18,910	467,396	24.72
20 東京都区部	7,837	7,000	837	138,638	2,912,954	21.01
21 札幌市	883	687	196	27,116	560,445	20.67

* 順位は従業者1人当たり製造品出荷額等による。

* 製造品出荷額等は平成29年1年間の数値である。

(工業統計調査)

データチェック

川崎市の従業者4人以上の製造業の製造品出荷額等、従業者1人当たり製造品出荷額等は第1位となっています。一方で、事業所数は第11位、従業者数は第12位となっています。

7

商業

●小売業年間商品販売額は大都市で第12位

(単位：事業所、人、億円) (平成28年6月1日)

都市名	卸 売 業			小 売 業			1事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東京都区部	32,903	745,172	1,631,396	53,679	494,274	150,767	20.58
2 大阪府市	16,524	241,212	369,855	19,811	163,634	45,782	11.44
3 横浜市	5,032	63,945	66,877	15,193	163,611	40,119	5.29
4 名古屋市	10,289	132,649	238,838	13,855	127,481	34,756	11.33
5 札幌市	5,283	54,214	76,662	8,884	99,713	22,899	7.03
6 福岡市	6,557	73,610	116,033	9,330	81,768	21,399	8.65
7 神戸市	3,419	36,713	37,796	9,389	81,659	18,687	4.41
8 京都市	3,798	45,046	35,337	10,630	91,017	18,296	3.72
9 仙台市	4,833	50,022	76,327	6,360	58,492	14,914	8.15
10 広島市	4,290	44,798	63,808	7,341	64,691	14,633	6.74
11 さいたま市	2,465	30,787	38,397	5,660	61,354	13,785	6.42
12 川崎市	1,362	17,749	17,945	5,332	56,435	12,287	4.52
13 千葉市	1,654	20,625	25,704	4,207	46,307	11,119	6.28
14 北九州市	2,200	19,480	16,472	6,793	49,232	10,495	3.00
15 新潟市	2,335	23,148	22,708	5,650	45,657	9,611	4.05
16 浜松市	2,168	19,179	19,234	5,447	39,025	9,334	3.75
17 岡山市	2,196	22,882	23,099	4,599	39,842	8,842	4.70
18 静岡市	2,518	22,764	21,723	5,507	39,121	7,968	3.70
19 熊本市	1,822	17,901	15,120	4,292	35,533	7,800	3.75
20 堺市	1,246	12,087	9,914	3,858	36,527	7,632	3.44
21 相模原市	841	6,613	5,311	2,910	33,782	6,637	3.19

*順位は小売業の年間商品販売額による。

(経済センサス-活動調査)

データチェック

川崎市の小売業の事業所数は大都市で第16位、従業者数及び年間商品販売額は第12位となっています。卸売業は事業所数及び従業者数ともに第19位、年間商品販売額は第17位となっています。卸売業と小売業を合わせた商業全体の1事業所当たり年間商品販売額は大都市で第12位となっています。

8

貿易

●海上輸(移)出入貨物数量は大都市で第7位

(単位：10億円、千トン) (平成31・令和元年)

都市名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)出入貨物数量				
	総額	輸出	輸入	総数	輸出	輸入	移出	移入
1 名古屋市	17,392	12,307	5,085	194,436	52,851	73,526	35,745	32,314
2 横浜市	11,838	6,946	4,892	110,623	29,648	50,295	14,484	16,196
3 北九州市	2,348	1,212	1,136	98,600	7,280	23,375	32,178	35,768
4 神戸市	8,867	5,557	3,310	94,009	22,927	28,586	17,879	24,615
5 東京都区部	17,315	5,824	11,491	87,806	12,735	35,759	15,054	24,258
6 大阪市	8,552	3,774	4,778	85,189	9,014	26,656	21,908	27,612
7 川崎市	3,474	1,117	2,357	79,386	8,401	45,173	13,152	12,660
8 堺市	1,847	440	1,407	37,742	713	17,856	7,903	11,271
9 福岡市	4,024	2,977	1,046	34,869	8,855	11,421	3,997	10,596
10 新潟市	622	103	519	31,769	1,000	13,696	7,239	9,833
11 仙台市	952	223	729	28,495	1,589	10,478	8,394	8,034
12 千葉市	3,986	718	3,268	28,174	2,256	14,028	3,716	8,174
13 静岡市	2,846	1,824	1,022	16,507	3,688	6,299	1,876	4,644
14 広島市	1,882	1,444	439	11,756	4,492	1,515	2,177	3,572
15 岡山市	477	47	430	1,464	-	-	293	1,172
16 熊本市	42	19	23	1,281	82	161	539	499
- 京都市	131	112	19	-	-	-	-	-
- 札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-
- さいたま市	-	-	-	-	-	-	-	-
- 相模原市	-	-	-	-	-	-	-	-
- 浜松市	-	-	-	-	-	-	-	-

*順位は海上輸(移)出入貨物数量総数による。

(貿易統計、港湾調査)

*外国貿易海上輸出入額は貿易統計による税関別貿易額である。海上輸(移)出入貨物数量は港湾統計による数値である。

データチェック

川崎市の外国貿易海上輸出入額総額は、大都市で第8位となっています。内訳をみると、輸出額は第10位、輸入額は第7位となっています。海上輸(移)出入貨物数量総数は大都市で第7位となっています。内訳をみると、輸出量は第7位、輸入量は第3位となっています。

●共同住宅に住む世帯の割合は大都市で3番目に高い

(単位：世帯、%) (平成27年10月1日)

都 市 名	住宅に住む 一般世帯	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	共同住宅に住む 世帯の割合
1 福 岡 市	753,984	167,719	5,434	579,853	978	76.9
2 東 京 都 区 部	4,723,233	1,210,515	36,742	3,466,022	9,954	73.4
3 川 崎 市	672,731	179,274	7,131	485,429	897	72.2
4 大 阪 市	1,333,086	345,078	40,148	944,144	3,716	70.8
5 名 古 屋 市	1,037,072	348,673	17,606	669,154	1,639	64.5
6 札 幌 市	912,774	321,277	10,089	579,543	1,865	63.5
7 神 戸 市	694,641	251,550	12,907	429,264	920	61.8
8 横 浜 市	1,605,481	607,761	23,214	971,904	2,602	60.5
9 仙 台 市	491,762	189,951	4,572	296,533	706	60.3
10 千 葉 市	409,653	164,960	5,116	239,128	449	58.4
11 広 島 市	521,769	221,475	9,022	290,255	1,017	55.6
12 北 九 州 市	417,333	187,544	8,456	220,708	625	52.9
13 京 都 市	696,570	310,043	17,513	367,867	1,147	52.8
14 さ い た ま 市	523,782	244,778	5,418	272,973	613	52.1
15 相 模 原 市	307,898	147,344	3,660	156,510	384	50.8
16 熊 本 市	311,342	149,538	3,066	158,216	522	50.8
17 堺 市	345,467	162,900	10,072	171,940	555	49.8
18 岡 山 市	304,753	168,673	5,764	129,660	656	42.5
19 静 岡 市	282,133	171,800	3,652	106,164	517	37.6
20 浜 松 市	304,552	193,545	6,683	103,903	421	34.1
21 新 潟 市	317,986	205,307	4,036	108,290	353	34.1

*順位は共同住宅に住む世帯の割合による。

(国勢調査)

データチェック

川崎市の住宅に住む一般世帯数は、大都市で第9位となっています。このうち、共同住宅に住む世帯の割合は第3位となっています。

●消費者物価地域差指数(総合)は大都市で2番目に高い

都 市 名	平成28年 平均(全国=100)		平成29年 平均(全国=100)		平成30年 平均(全国=100)		平成31・令和元年 平均(全国=100)	
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
1 東 京 都 区 部	105.2	103.4	105.1	103.2	105.1	103.0	105.4	103.4
2 川 崎 市	105.4	102.5	105.3	102.7	105.4	102.1	105.2	101.3
3 横 浜 市	104.9	102.9	104.8	102.7	105.1	102.8	104.7	102.5
4 相 模 原 市	104.0	104.6	103.3	103.3	103.1	102.8	103.0	102.2
5 さ い た ま 市	103.1	102.0	102.8	101.5	102.8	101.4	102.7	101.2
6 千 葉 市	100.7	101.6	100.8	101.8	101.1	102.2	101.3	102.8
7 神 戸 市	101.5	100.4	101.2	100.5	101.2	100.6	100.9	99.8
8 京 都 市	100.9	100.6	100.9	100.6	100.9	101.1	100.8	100.9
9 堺 市	99.9	99.8	100.2	99.8	100.2	99.6	100.0	99.8
10 仙 台 市	98.7	97.4	99.1	97.4	99.2	97.7	99.9	98.4
11 静 岡 市	99.1	99.2	99.2	99.2	99.2	99.6	99.7	100.2
12 大 阪 市	100.7	99.7	100.2	99.4	99.9	100.0	99.7	100.8
13 札 幌 市	99.1	99.7	99.5	100.5	99.6	100.7	99.5	100.9
14 新 潟 市	99.3	101.0	99.2	101.0	98.9	100.6	98.9	100.9
15 広 島 市	99.0	101.7	99.2	101.3	98.9	101.2	98.9	100.1
16 浜 松 市	97.7	98.4	98.1	98.7	98.3	99.2	98.5	99.5
17 名 古 屋 市	99.4	98.9	99.0	98.8	98.9	98.5	98.5	97.6
18 熊 本 市	98.6	102.2	98.6	101.5	98.4	101.0	98.4	99.9
19 岡 山 市	98.5	100.4	98.8	101.2	98.5	101.3	97.6	99.3
20 北 九 州 市	97.2	97.8	97.3	97.5	97.1	97.7	97.5	98.2
21 福 岡 市	97.6	96.2	97.4	97.4	97.0	94.6	97.5	95.2

*順位は平成31・令和元年平均総合指数による。

データチェック

消費者物価地域差指数(全国平均を100とした場合の地域ごとの年平均指数)の総合指数をみると、平成31・令和元年平均の川崎市は第2位となっています。

11

市(都)民経済計算

●1人当たり市民所得は大都市で第4位

(単位：百万円、%) (平成29年度)

都 市 名	市(都)内総生産(名目)		市(都)内総生産(実質)		市(都)民所得		1人当たり市(都)民所得(千円)
	実 数	対前年度増加率	実 数	対前年度増加率	うち市(都)民雇用者報酬		
1 東京都	106,238,222	1.0	105,376,778	0.8	74,473,226	39,242,914	5,421
2 大阪市	20,025,868	2.7	19,681,527	2.3	12,053,714	6,940,484	4,443
3 名古屋市	13,586,012	2.3	13,251,792	2.2	8,763,039	5,716,091	3,787
4 川崎市	6,365,134	3.9	6,417,855	1.7	5,629,626	4,173,972	3,744
5 広島市	5,673,050	2.8	5,502,469	2.9	4,229,057	2,704,958	3,528
6 仙台市	5,387,952	1.4	5,270,812	0.6	3,760,256	2,503,270	3,461
7 横浜市	13,699,877	2.5	13,245,724	2.4	12,601,847	9,092,201	3,373
8 福岡市	7,804,309	2.0	7,624,489	1.6	5,285,374	3,159,787	3,373
9 さいたま市	4,477,628	3.3	4,407,607	3.0	4,290,758	2,959,398	3,336
10 浜松市	3,176,642	4.7	3,053,184	4.8	2,577,420	1,846,848	3,233
11 神戸市	6,547,035	1.9	6,405,663	2.1	4,927,214	3,291,222	3,216
12 京都市	6,600,755	0.8	6,459,260	0.6	4,719,285	2,751,266	3,206
13 千葉市	3,831,993	1.4	3,691,764	1.4	3,044,622	2,138,828	3,122
14 堺市	3,245,976	10.1	3,132,056	8.7	2,579,545	1,664,431	3,092
15 新潟市	3,145,729	1.8	3,057,016	1.7	2,395,628	1,681,114	2,979
16 岡山市	2,857,754	0.8	2,788,445	0.7	2,148,593	1,550,305	2,979
17 北九州市	3,718,824	0.8	3,539,971	0.6	2,729,525	1,747,195	2,871
18 札幌市	6,915,662	2.6	6,752,180	2.2	5,394,507	3,875,803	2,748
- 相模原市
- 静岡市
- 熊本市

*順位は1人当たり市(都)民所得による。

データチェック

川崎市の平成29年度の市内総生産は、名目が第9位、実質は第8位となっています。また、市民所得、市民雇用者報酬は第5位となっており、1人当たり市民所得は第4位となっています。

12

治安及び災害

●人口当たり刑法犯認知件数は大都市で最も少ない

(単位：件) (平成31・令和元年)

都 市 名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び検挙件数(発生地による)		
	総数	人口10万人当たりの交通事故発生件数	認知件数	検挙件数	人口1,000人当たりの認知件数
1 川崎市	3,011	196.7	6,654	3,859	4.3
1 横浜市	8,398	224.0	16,287	9,424	4.3
3 浜松市	6,582	831.3	3,583	2,029	4.5
4 熊本市	2,084	281.9	3,678	2,415	5.0
5 相模原市	2,215	306.4	3,969	1,863	5.5
6 静岡市	4,394	635.7	3,953	1,832	5.7
7 札幌市	4,721	239.6	11,635	6,004	5.9
8 新潟市	1,485	186.4	5,009	2,663	6.3
9 岡山市	2,106	292.1	4,632	2,296	6.4
10 仙台市	2,743	251.6	7,116	2,734	6.5
10 広島市	2,651	221.0	7,754	4,142	6.5
12 京都市	3,279	223.6	10,405	4,306	7.1
13 北九州市	5,542	589.5	6,833	3,868	7.3
14 千葉市	2,574	262.6	7,268	2,809	7.4
15 さいたま市	3,309	253.0	10,084	3,909	7.7
16 堺市	3,053	368.7	6,691	2,202	8.1
16 神戸市	5,841	383.5	12,300	6,873	8.1
18 東京都	20,486	212.4	78,751	34,167	8.2
19 福岡市	7,758	487.1	14,043	6,366	8.8
20 名古屋市	9,755	419.1	20,746	10,118	8.9
21 大阪市	10,080	367.9	41,349	14,000	15.1

*順位は人口1,000人当たり刑法犯認知件数による。

*交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。なお、札幌市、川崎市、名古屋市、京都市及び神戸市は高速道路上の事故を含み、他都市は除く。

*人口当たり件数の算出に使用した人口は令和元年10月1日現在の数値である。

データチェック

人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は、大都市で川崎市と横浜市が最も少なくなっています。また、人口10万人当たりの交通事故発生件数は、大都市で2番目に少なくなっています。

世界人口の性比



令和2年国勢調査速報値において、本市の性比(女性100人に対する男性の数)は、大都市の中で最も高く、101.7であることが分かりました。

そこで、本市の性比の数値は、諸外国と比較しどのような結果であるのか、総務省統計局が発行している「世界の統計2021」を基に確認してきたいと思います。

●特に人口が多い国の性比について

「世界の統計2021」に掲載された人口100万人以上の国において、特に人口が多い10か国を抜粋し性比を比較しました。

その結果、性比100.0以上の国が6か国、100.0を下回る国が4か国となっていました。そのうち、最も性比が高い国はインドで106.1、最も性比が低い国はロシアで86.3となっていました。

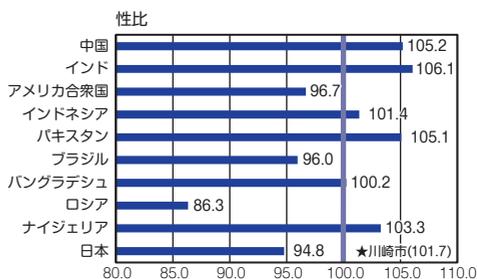
さらに確認すると、本市の性比101.7は、日本の大都市の中では最も高い数値ではあるものの、諸外国と比較すると際立って高い訳ではないことが分かります。

また、日本の大都市の中で最も性比が低い都市は札幌市87.0、下の図で最も性比が低い国はロシア86.3となっており、ともに寒い地域なのは偶然なのでしょう。

人口が多い国上位10位

(人口：千人)

国名	地域	人口総数	人口(男)	人口(女)	性比
中国	アジア	1,339,725	686,853	652,872	105.2
インド	アジア	1,210,855	623,270	587,585	106.1
アメリカ合衆国	北米	308,746	151,781	156,964	96.7
インドネシア	アジア	237,641	119,631	118,010	101.4
パキスタン	アジア	207,775	106,449	101,315	105.1
ブラジル	南米	190,756	93,407	97,349	96.0
バングラデシュ	アジア	144,044	72,110	71,934	100.2
ロシア	欧	143,436	66,457	76,979	86.3
ナイジェリア	アフリカ	140,432	71,345	69,086	103.3
日本	アジア	127,095	61,842	65,253	94.8



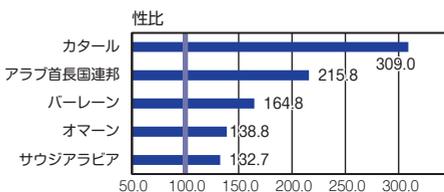
●性比が最も高い国と低い国

「世界の統計2021」に掲載された人口100万人以上の国において、性比が最も高い国と低い国の上位5位を抜粋しました。

これを確認すると、性比が特に高い国の上位5国の地域は全てアジアであり、性比が特に低い国の上位4国の地域は欧(ヨーロッパ)となっていることが分かります。

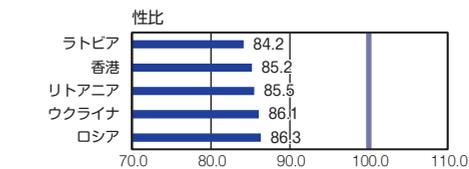
性比が高い国上位5位

国名	地域	人口総数	人口(男)	人口(女)	性比
カタール	アジア	2,405	1,817	588	309.0
アラブ首長国連邦	アジア	4,106	2,806	1,300	215.8
バーレーン	アジア	1,235	768	466	164.8
オマーン	アジア	2,773	1,612	1,161	138.8
サウジアラビア	アジア	27,236	15,531	11,705	132.7



性比が低い国上位5位

国名	地域	人口総数	人口(男)	人口(女)	性比
ラトビア	欧	2,070	946	1,124	84.2
香港	アジア	7,337	3,375	3,961	85.2
リトアニア	欧	3,043	1,403	1,641	85.5
ウクライナ	欧	48,241	22,316	25,925	86.1
ロシア	欧	143,436	66,457	76,979	86.3



*性比=人口(男)÷人口(女)×100

*人口は、総務省統計局「世界の統計2021」に掲載された「センサス人口」を使用している。

*地域は、総務省統計局「世界の統計2021」に掲載された「地域」を使用している。